

Topics1 技術向上研修会(防護柵)を開催しました！

Topics2 「似ている野生動物」見分けることができますか？



2025

7

Vo.52

鳥獣センター通信

発行元 鳥獣被害対策支援センター ☎0985(44)1816

Topics1

防護柵の設置方法を学びました！

今回は、6月に実施した防護柵研修についてご紹介します。



①防護柵研修について

鳥獣被害対策支援センターでは、鳥獣被害対策マイスター等を対象として、被害防止対策の適切な知識の普及や、技術定着等を目的に研修を実施しています。

今回は、タイガー株式会社(資材メーカー)の方を講師としてお招きし、約30名の方に参加いただきました。

②座学

電気柵・ワイヤーメッシュ柵の基礎知識を学びました。設置のポイントや注意点について学ぶことができました。

③実習

電気柵とワイヤーメッシュ柵の設置実習を行いました。難しい作業もありましたが、丁寧な御指導のもと、参加者は積極的に実習に取り組みれていました。日差しの強い暑い中での実習でしたが、参加者からの質問が多く寄せられ、知識や技能の向上に繋がったのではないかと思います。



Topics2

みなさん、『似ている野生動物』見分けることができますか？

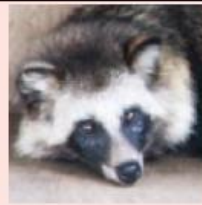
それぞれの特徴を見比べて、区別できるようになりましょう！



アライグマ



タヌキ



アナグマ



ハクビシン



顔

—

—

細長い

中央に白い線

目のまわり

両目の黒いマスク模様部分はつながっている

両目の黒いマスク模様部分はつながっていない

細長いマスク模様

黒

耳

大きい、縁が白い

丸い、両耳が離れている

小さい

良く目立つ

ひげ

白

黒

—

—

足

白が多い

黒い

短い、黒い

短い、黒い

体毛

白っぽい

茶色

—

—

尾

長い、縞模様

短い

毛が長い

細長い

体形

—

—

ずんぐりとして丸い

細長い

歩行

踵まで地面につける

つま先だけ地面に付ける

—

—

☆鳥獣被害対策地域特命チームだより☆

西臼杵地域

①活動概要

令和6年度から日之影町上小原集落をモデル集落に位置づけ、イノシシやシカの被害防止対策を支援しています。令和6年度は鳥獣被害対策の基礎研修とワイヤーメッシュ柵設置講習会を開催しました。

②活動内容・成果

基礎研修では、鳥獣被害対策の進め方、被害発生要因の筆頭としてあげられる無自覚の餌付けと人慣れ、ワイヤーメッシュ柵設置時の注意点、設置後の管理の重要性について研修しました。

研修後は、被害が多い場所、柵設置が難しい場所等を一緒に確認しながら被害マップと集落ビジョンを作成しました。

柵設置講習会では、実際に使用する柵の規格や現地の条件を考慮した設置マニュアルを作成し、柵の正しい設置方法について指導しました。

今回の研修会を経て、被害対策への理解と、被害防止に係る新たな知識習得、ビジョン作成による「守れる集落づくり」の意識醸成が図られ、鳥獣被害対策実施体制が強化されました。また、ワイヤーメッシュ柵が適切に設置できたことで、集落全体での生産意欲の向上が見られました。

③今後について

防護柵の継続的な管理が被害を減らすことに繋がるため、令和7年度も引き続き、上小原集落に対して、被害状況確認や研修会の開催など集落全体の点検体制強化を支援して、被害発生ゼロを目指していきます。



①管理マップ、ビジョン作成



②集落点検

中部地域

中部地域では、令和6年度の重点現地支援として、宮崎市高岡町の野地区で、支援活動を行いました。この地区は、有害鳥獣対策組合員を中心に先進地区への視察を行うなど有害鳥獣対策に熱心に取り組まれ、複合柵の設置につながりました。

中部地域鳥獣被害対策特命チームとしては、効果が高い柵の設置が実現できるよう、宮崎市の協力の下、集落の住民や関係機関に広く声をかけ、研修会を行いました。

室内研修では、鳥獣被害対策支援センターの講義に加え、地域のリーダーによるこれまでの鳥獣被害対策への取組経緯の紹介があり、地域の取組意欲を高める機会となりました。

現地研修では、複合柵の設置を予定しているルート歩きながら、水路からの侵入防止の方法や周辺の樹木の枝処理、柵の外側の草刈り等について再確認しました。

参加者からは、支柱を立てる位置や電源の設置位置について細かい質問があり、柵の設置作業に入る前に具体的なイメージをつかむことができました。

これから侵入防止柵の設置を希望する地区のモデルとして、今後の取組が期待されます。



室内研修



現地研修



水路の侵入防止対策